

【 投薬 】

653 カナマイシンー硫酸塩カプセル（肝硬変のみ）の算定について

《令和7年8月29日》

○ 取扱い

肝硬変のみに対するカナマイシンー硫酸塩カプセルの算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

カナマイシンー硫酸塩カプセルの添付文書の効能・効果は「感染性腸炎」であり、消化管内でほとんど吸収されないため、腸管内で効果的に抗菌作用を發揮しアンモニアを産生するウレアーゼ産生腸内細菌を減少させる。その結果、血中アンモニア濃度が低下することにより、肝硬変に伴う高アンモニア血症を改善させる効果がある。ただし、肝硬変のみでは高アンモニア血症の状態にあるとはいえない。

以上のことから、肝硬変のみに対するカナマイシンー硫酸塩カプセルの算定は、原則として認められないと判断した。